

国語 (書き)	六一
第六学年の漢字（書き）	名前
	年 組 番
	取り組んだ日 月 日

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。

送^{おく}りがなにもきをつけましょ^う。

そんけい

きもち

ことば

あらわす

①

の

を

で

②

な

を

あらためる

。

③

の

を

て

かんげき

。

ひとしおだ。

④

あまりの

に

を

わすれる

。

⑤

を

に

を

にする。

ひと

うやまう

こころ

たいせつ

にする。

たのしさ

われ

わすれる

国語	六一一 (書き)	第六学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
						取り組んだ日
						月
						日

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かぎましょ^う。

送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① □を□にあけろ。

② □に□まけず、□と□を□にまけ。

③ □より□の□が□て□。

④ □。□こなんに□まけ□。

⑤ げる。

⑤ □を□にがんばろう。

④ □が□になる。

③ □。□よてい□こなんに□まけ□。

② □に□まけ□。

① □を□にあけろ。

国語	六一三 (書き)
第六学年の漢字(書き)	名前
	年 組 番
	取り組んだ日 月 日

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。

送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① の の が に

きょうり

ふるい

せかいいさん

れる。

えらば

きぬ

いと

② の を て い ね い に 。

きんむわき

かいしや

えんかく

しらべる

③ の の を 。

やぶれ

えまきもの

しゅうふく

しつめる

④ た を する。

かわぞい

ある

まちこうば

つとめる

⑤ に を 。

ものがたり

じょうかん

よみ

おえる

⑥ の を 。

きぬ

かいしや

えんかく

しらべる

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢^{かんじ}字^じを書^かきましょ^う。送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① する。
 せん たく もの ほし つくえ の □ を □ てから □ の □ を

② の □ を □ する。
 げきじょう うらぐち けいび ことば かんげき

③ のはげましの□に□する。
 おんし ちいき はげしい ことば かんげき

④ ふる やまぞい の □ に □ が
 さわ あめ が

⑤ かんまん おおきい の □ が
 さわ が

こく語 六一五 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましょ
う。送りがなにもきをつけましょ。

① □への□は□な□である。

② □なる□を□するのは□

ではない。

③ □が□、□で□もできない。

④ □から□に□れる。

⑤ □の□。

⑥ □。

こく語 六一六 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番	取り組んだひ 月 にち
--------------------	--------------	----	---	---	---	-------------------

次 つぎ の 文 ぶん の □ に 当 あて は ま る 漢 かん 字 じ を 書 か き ま し よ う 。 送 おく り が な に も 気 き を つ け ま し よ う 。

① □ で □ を ほ る 。

すなば
あな

② の □ に □ し じ

ないかくそ うりだいじん

③ を □ みつけ る

さきん

みつけ る

④ に □ か ん

にほんこくけんぽう

か ん

する □ いっさつ

ほん

⑤ と □ け ら い

を □ 。

よ む

が □ しゅじゅうかんけい
を □ むすぶ
しゅくん
け ら い

国語	六一七 (書き)
第六がく年の漢字 (書き)	名前
	年
	組
	番
取り組んだ日	月
	日

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。

送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① □をする。

② □を□する。
□を□する。

③ □を□する。
□を□する。

④ □が□になる。
□が□になる。

⑤ □になつた□が□を□になる。
□になつた□が□を□になる。

国語	六一八 (書き)
第六学年の漢字 (書き)	
名前	
年	
組	
番	
取り組んだ日	月 日

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。

送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① □の□があちこちにあつて

き
きけん
だ。

② のあら□を□する。

えいが

すじ
せつめい

のあら

を

する。

③ に□が□。

こめん

やま

に

が

。

④ に□づいてはいけない。

あぶない

ばしょ

ちか

に

づ

いてはいけない。

⑤ は□で□しまつた

たいけい
あに

きんにくしつ

で

ひき

しまつた

国語	六一九	(書き)
第六学年の漢じ	(書き)	
名前	年	組
	番	月
		日

次の文の□に当てはまる漢じを書きましょう。

- ⑤ ちようしょく を
④ ともだち を
③ がもん を
② ことば の
① ハジ だつ に
かんたん うたがう かいつけ つかいかた を
に することはない。 します あやまる ちゅうい する。

こく語 (書き)	第六学ねんの漢字 (書き)	名前	ねん組番

次**の文**の□にあてはまる漢字を書きましょう。

送りがなにも気をつけましょう。

① うる。 きせつはずれ
の しょうひん を ごわりりびき
で

② うる。
の かいき を のばす。
こつかい

③ ボールが あたり、 まだ
われる ガラスが

④ お としだま
を りょうしん
に あづける。

⑤ けんりょく
を こうし
する。

⑥ よきんつうちょう
を だいじ
に かんり
する。

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① どんよりとした□の、

ふり

だし

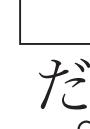
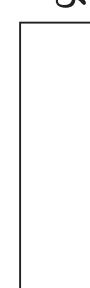
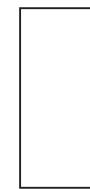
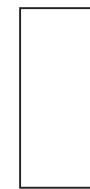
はいいろ

そらもよう

いま

あめ

が



が

② では□が□。

よほう

こうすいかくりつ

たかい



が



たかい



たかい



③ な□を□する。

みず

こうじ

けいかく



を



る

④ を□するシステムを□する。

ぼぜん

きょうきゅう



す



る

⑤ に□を□はな。

こども

はな

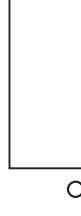
そなえる

を



な

⑥ たちがバスから□おりる。



ち



バ



か



か



る



国語 (書き)	六一十二
第六学年の漢字（書き）	名前
	年 組 番
	取り組んだ日 月 日

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。

送^{おく}りがなにもきをつけましょ^う。

① ちち は てつこうぎょう を いとなむ かいしや に

□ て いる。

□ つとめ □

② おおじえ で ともだち を よぶ ○

③ かぎら れた しげん を たいせつ につかう ○

④ じぶん の げんき の みなもと あき は ご ほん だ。

⑤ かいつけん かんがえる ひつよう を がある。

□ かんがえる ひつよう

六 一 十三 (書き)	国語
第六学年の漢字 (書き)	
名前	年
	組
	番
	取り組んだひ
	月
	にち

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

①
かいが
を
かいし
する
じこく
になつた。

② ト ラ ッ ク か ら
_____ に も つ
を _____ お ろ す
。

③ あの□のでさばとを□に□
ひ
いふる
あざむ

4
まつ
て
いる
ひとびと
を
あゆうがい
する。

にぎやかな
しょくじ
がすむ。

次の一文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょ。

① から □ が □ に

しょがいこく

かんこうぎやく

おんせんち

やつてくる。

② の □ みかんがすつかり □ した。

こうてい

なつ

じゅく

③ の □ みず がわき □ 。

つめたい

みず

でる

いづみ

④ が □ で □ された。

ほうあん

しううぎいん

あらう

かけつ

⑤ この □ は □ と □ 。

おりもの

あらう

ちぢむ

⑥ する。 を □ 、 □ を

たんしゅく

こうりつか

すすめ

さざようじかん

を

、

を

を

次 つぎ の 文 ぶん の □ あ に 当 おく て は ま る 漢 かん 字 じ を 書 か き ましょう。 送 おく り が な に も 気 き を つ け ましょう。

① ユネスコの □ かんせんたいし が □ すがた を □ あらわす。

② □ ようさんぎょう では、□ かいこ のまゆを □ しゅう かくする。

③ □ せんしゅ として □ せいこう を □ おさめ たのち、

かんとくに □ しゅうにん した。

④ □ まえむぎ な □ しせい が □ ひょうか さ れ る。

⑤ □ よい おこない □ こころ を □ がける。

国語
六一十六
(書き)

第六学年の漢字(書き)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢^{かんじ}字^じを書^かきましょ^う。送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① □の□を□。
まど すんぽう はかる

② に□に□が□。
すいちよく きり たつ

□。□。

みえる

。。

③ なと^う□が□て□が□。
りつぱ じき われ みづ

□

が

□

て

□

が

□。□。

たれる

。

④ を□した。
きずぐち おうきゅうしょち

□。

ミスを□
そうせ

した。

の□
きかい

□。

ミスを□
さいわい

□。

⑤ に□があつたが、□にも□で□。
じこ ふせぐ けいしょう

□。□。

あつたが、□
さいわい

□。

□。□。

□。□。

□で□。

国語 (書き)	六十七
第六学年の漢字（書き）	名前
	年
	組
	番
取り組んだ日	月
	日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

① が□された□を

あんせんそうち

ないぞう

きかい

する。

かいはつ

② もう□はしないと□した。

わすれもの

せんげん

した。

③ の□な□に□が□した。

ゆうじん

せいじつ

たいど

いところ

あらわ

れた。

④ □たく□が□した。

せん

き

こしょう

が

しりぞける

。

⑤ の□を

ゆうじん

いきん

しりぞける

を

する。

⑥ で□する。

ふくつう

そうたい

こく語 (書き)	六一十八
第六学年の漢字（書き）	名前
	年 組 番
	取り組んだ日 月 日

次**の**文**の**□に当**て**はまる漢**字**を書**き**ましょ**う**。

送**り**がな**に**も氣**を**つけましょ**う**。

① □を□ため□の□を□

やちん おさめる おおや いえ

たづねる。

ぬの

②

□をどの□で□か□する。

いろ そめる けんとう

ものごと

けいとうせい

かんがえる

③

□の□について□。

いろ

ついて

かんがえる

④

□を□する。

どうめいこく

ほうもん

⑤

□には□の□がある。

こくみん

のうぜい

ぎさむ

国語 (書き)	六十九
第六学年の漢字（書き）	名前
	年 組 番
	取り組んだ日 月 日

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましょ
う。送りがなにも気をつけましょう。

① あたらしい ぶんか を つくる のは わかもの た

ちだ。

② かれは どうそとうてき な をする。

③ ながい かいだん を ふたん に かん じる。

④ たいかい さんか を みとめ に じようづ

⑤ あの はいゆう への が みとめ が じようづ られる。

⑥ えんぎ はいゆう えんこう が じようづ だ。

じく語 六一二十 (書き)	第六学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番

次**の**文**の**□に当**て**はまる漢**字**を書**き**まし**よ**う。
送**り**がな**に**も気**を**つけまし**よ**う。

① □の□は□だ。

② □には□の□がある。

③ □の□は□にしておこう。

④ で□の□が□

⑤ に□する。

⑥ ここは□です。

国語
六一二十
(書き)

第六学年の漢字 (書き)

名前

年

組

番

取り組んだひ 月 にち

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① のやり□を□することは

むずかしい じゅうらい

。

② な□のやり□を□することは

もんだい かた

かいけつ

に□を□することは

むけ

だが

こんなん

しょ^うう。

③ に□がある。

ちそ^う

きょうみ

④ に□が□よう^うに□

たんじょうび

はな

とどく

てはい

した。

はいく

さつし

の

かう

を

かう

。

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① する。
 にんげん のう ようじき きゅうそく に に に
 はつたつ おさない こども まえ ろうどく
 にんげん のう ようじき きゅうそく に に に
 する。

② たちを にして に
 おこなう おさない こども まえ ろうどく
 はつたつ おこなう おさない こども まえ ろうどく
 に に に に に に

③ の をする。
 ほうりつ べんきょう
 まいあさ うし
 ちち

④ の をしほる。
 あゆうにゆう
 うし
 ちち

⑤ コーヒーに と を 。
 あとう
 いれる
 いれる
 あとう

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① □ともだちと□せなかを□あわせて□せいくらべ

をする。

② すざぎ□の□なみきに□さんちようが□みえる

③ やま□の□からに□ひのでを□おがむ

すいりしようせつ

やま

いただき

ひので

おがむ

から

から

から

から

から

から

から

から

から

④ □の□ほんを□いただく。

の

の

の

の

の

の

の

の

⑤ □は□ゆうびんきょくの□ならびに□ある。

は

は

は

は

は

は

は

は

⑥ □の□ひやつかじてんを□はいしゃくする。

の

の

の

の

の

の

の

の

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。

送^{おく}りがなにもきをつけましょ^う。

江^え戸^どの^{ばくふ}は徳^{とく}川^{がわ}家^{いえ}康^{やす}だ。

江^え戸^どの^{ばくふ}は徳^{とく}川^{がわ}家^{いえ}康^{やす}だ。

江^え戸^どの^{ばくふ}は徳^{とく}川^{がわ}家^{いえ}康^{やす}だ。

江^え戸^どの^{ばくふ}は徳^{とく}川^{がわ}家^{いえ}康^{やす}だ。

江^え戸^どの^{ばくふ}は徳^{とく}川^{がわ}家^{いえ}康^{やす}だ。

する。

の^{こうえん}の^{じゅもく}をながめる。

国語	第六学年の漢字（書き）	名前	年	組	番
六一二十五 (書き)					
取り組んだ日 月 日					

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。

送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① ごみ□に、ごみを□^{ばこ}。

② □を□^{こたえ}して□^{しきじゅつ}する。

③ は□^{しゃくはち}□^{がつき}だ[。]
□^{ふとく}□^{じゅう}こうな□^{おと}を□^{だす}

□だ[。]

④ □を□^{そんけい}して□^{しきじゅつ}いる。

⑤ かれの□^{ゆめ}は□^{うちゅうひこうし}になること

だ[。]

⑥ □かいがんで□うつくしいからを□^{ひろう}。□^{かい}がらを□^{ひろう}。

国語
六一ニ十六
(書き)

第六学年の漢字 (書き)

名前

年

組

番

取り組んだ日 月 日

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

あさばん

かわぞい

みち

はしる

① □、

の□を

□した。

② □の□を□した。

つうかん

たべる

③ □の□でお□を□。

やま ちようじょう

べんとう

を

□。

④ □の□が、

かいが

せんぞ

の□の□の□

たべる

た

⑤ □だ。

かほう

ひこうき

の□が□の□だ。

もけい いもうと

たからもの

だ。

次〇の文〇の□に当てはまる漢字を書きましょ。送〇りがなにも気をつけましょ。

① □ひはん□を□で□の□の□を

。のべる

ひはん しょうち こんご ほうしん

② □の□を□のが□だ。

ひ ちゅうしゃ はり みる にがて

のが

だ。

③ □が□たので□をつける。

ひ くれ ひとりぐらし しょうめい しおめい

をつける。

④ □は□、□を□はじめる。

あに さいきん ひ さいきん はじめ

はじめる。

⑤ □に□て□を□いる。

まと むけ や いる

いる。

⑥ □に□して□を□ひいていく。

でる ていあん たい ひいていく

ひいていく。

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① □と□の□から□を

たて よこ ながさ

もとめる

□。

② その□の□を□して

さっか ちよさく たすう

に□の□が□して

こてん おおく ひと ほぞん

いる。

③ □の□に□の□を□して

ひこうき おおく ひと ほぞん

がか さつか ちよさく たすう

した。

④ いつか□を□してみたい。

ひこうき そうじゅう

かいしゃ

そんぽう

ひこうき

そうじゅう

□

□

□

□

かいはつ

しょうひん

⑤

いつか□を□してみたい。

する。

⑥ ほ□のイルカは□で□する。

にゅうるい

かいしゃ

そんぽう

ひこうき

そうじゅう

かいはつ

かいはつ

かいはつ

かいはつ

かいはつ

かいはつ

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① □の□を□た□は□が□
 しろ の いしだん を のぼつ た よくじつ は あし

② で□の□を□た□は□が□
 びょういん で ないぞう の うける た が

③ が□の□のため□した。
 こんらん たいふう の みだれ ため した

④ の□を□。
 ふくそう ととのえる の を

⑤ このままでは□だ。
 ひつし もんだい の ちようきか は

国語	六一三十 (書き)
第六学年の漢字(書き)	名前
	年
	組
	番
取り組んだ日	がつ
	日

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。

送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① の□の□を□する。

□の□の□を□する。

□の□の□を□する。

② の□を□する。

□の□を□する。

□の□を□する。

□の□を□する。

④ ジャムを□する。

□する。

□する。

□する。

⑤ ある□は□が、それに□だ。

□ある□は□が、それに□だ。

□ある□は□が、それに□だ。

□ある□は□が、それに□だ。

国語 (書き)	六一三十一
第六学年の漢字（書き）	名前
	年 組 番
	取り組んだ日 月 日

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。

送^{おく}りがなにもきをつけましょ^う。

① の □ を □ 。
りんじれつしや じょうしやけん かう

② な □ の □ で □ 。
おんだん きょうじゅう とち くらす

③ ので □ は □ ない。
あつい あたたかい うわぎ ひつよう

④ は □ が □ なる。
きせつ しょくよく なく

⑤ の □ を □ 。
ちず しゅくしやく しらべる

国語	第六学年の漢字（書き）	名前	年	組	番
六一三十二 (書き)					
取り組んだ日 月 日					

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。

送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① □の□を□する。
どうる かくちょうこうじ しき

② □の□を□する。
せんとう かんばん あたらしく する。

③ □の□に□を□する。
つうやく しじと てんしょく はら する。

④ □。きめる

⑤ ラーメンの□を□する。
おおもり てんらんかい ちゅうし わけ せつめい する。

⑥ ラーメンの□を□する。
たべ まんぱく する。

国語
六一三十三
(書き)

第六がく年の漢字 (書き)

名前

年

組

ばん

取り組んだ日 月 日

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書きましょ^う。送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① ながら、
な に を した

まく てき
。 。

② の が
の が 。

③ かれの は
かれの は に
に だ。

④ うず が
うず が 。

⑤ の だそ^うだ。
の は

をするために
に 。

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。送^{おく}りがなにもきをつけましょ^う。

① が する。
 かんしゅう どひょう うえ りきし ちゅうし
 の の を

② オリンピックの□リレーが
 はじまる。

③ すいな□を□ない。
 じゅん きもち わすれ
 の い

④ 「□は□」とい□がある。
 じんじゅつ かくげん
 の い

⑤ が □を□とかつぐ。
 のうふ こめだわら かるがる
 が

次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢字^{かんじ}を書^かきましょ^う。送^{おく}りがなにも気^きをつけましょ^う。

① □の□を□から□する。
おおく こくもつ かいがい ゆにゅう

② □を□で□。
ふじゅんぶつ とり のぞく

③ □を□て□かける。
かしん したがえ で

④ □に□な□を□する。
じんたい ゆうがい ぶつしつ じょきよ

⑤ □を□して□を□。
ぬの さいだん ようふく つくる

⑥ □で□。
ほうりつ さばく